

先人たちの理論・技法を基本として学びながら  
現場に即した日常臨床へ

# 日常臨床のための 対象関係論WEBセミナーのご案内

講師：名古屋心理療法オフィス 祖父江典人  
事務局：近藤麻衣、志賀梓

テーマ

## 日常臨床から見たフロイト

- [日程] 令和3年5月～配信スタート  
原則月1回(年間計10回)
- [受講料] 3万円  
(院生、研究生2万円)
- [締切] 令和3年4月30日  
(これ以降でも申し込み可)
- [受講資格] 臨床心理士、公認心理師、医師  
看護師、福祉系援助職、教師  
臨床心理系の大学院生  
その他守秘義務を持つ専門家

申込み

別添の「WEBセミナー第二期参加申込書」に記入の上、事務局([taisho\\_kankeiron\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp))までメールでお申し込みください。

問い合わせ

メール：[taisho\\_kankeiron\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)  
ホームページ：<https://nagoya-psychotherapy.com/>

## セミナーの内容

今年度は「日常臨床から見たフロイト」をテーマとします。

フロイトは、今では日常臨床の現場にはそぐわない人のように見なされがちです。しかし、フロイトは、自らの臨床経験を重ねるほどに、自我機能や自我の強化に目を向けていった分析家です。この視点は、日常臨床においても極めて重要です。なぜなら、自らの足で人生を歩もうとする以上、知りたくない自己を知り、ネガティブな情動を自ら抱え、主体性を強化することは避けられない道だからです。その点で、今日においてもフロイトから学ぶことは決して少なくはありません。年間講義を通して、フロイト精神分析自体を初期から終期まで、年代を追って一貫して理解していく視座を得ることを目的としています。

また、講義に関する質問を受け付けます。事務局メールまで質問をお寄せいただければ、早ければ次の回には回答いたします。



## ごあいさつ

本セミナーは、昨年よりWEB形式（ストリーミング動画配信）によるセミナーを実施しております。それまで10年間ほど対面式のセミナーとして開催してきましたが、コロナの影響により、WEB方式に切り替えました。対面とは違いその場のやり取りはできませんが、双方向の交流を担保するために、質問コーナーを設け、参加者の方々のご質問に答える方式を採りました。さらに、今年度は、後にご案内しますように、ミニSVのコーナーも設けようと企画しております。

まず、本セミナーの趣旨を述べたいと思います。

今日、臨床心理士・公認心理師の職域が広がりを見せつつあることを鑑み、日常臨床の現場で活かせる精神分析の応用を、本セミナーの趣旨としています。

では、精神分析の理念とは何でしょうか。

それは、「**自己を知る**」ということに尽きるかもしれません。「自己を知る」ことによって、抑圧されたり、スプリットされていたりする自己部分を自我の中に統合し、自我強化を図ることが精神分析技法の基本と言えるでしょう。

ですが、医療のみならず、福祉・教育・産業などに及ぶ今日の臨床のすそ野を考えた場合、自由連想や解釈を中心とした技法によって、その目的を果たそうとすることは現実的ではありません。

自己を知るに耐えうるだけの自我の強度を持たない、自我脆弱群も日常臨床のすそ野として広がっているからです。そのためには、技法的工夫も必要とされます。

さらに今日では、治療構造の枠の中で面接できる臨床状況ばかりではありません。福祉系の援助現場やリエゾン領域などがそれに相当しますが、応用は可能です。すなわち、精神分析は、納得した生き方（あるいは死に方）を主体的に選び取る自我の援助に貢献しうるので。

本セミナーでは、先人たちの理論・技法を基本として学びながらも、現場に即した日常臨床への活かし方を検討することを主旨としています。



### ◇ WEBセミナーの受講方法について

- ・名古屋心理療法オフィスのホームページの「会員」サイトから視聴できます。
- ・会員サイトへのログインには、「ユーザ名（メールアドレス）」と「パスワード（PW）」の設定が必要となります。別紙「WEBセミナー第二期参加申込書」にてご案内しております。
- ・昨年度すでに会員の方は、申込書の該当欄に記載ください。同じログイン設定で第二期もご視聴いただけます。
- ・ストリーミング動画配信ですので、ダウンロードの時間を待たずに同時進行で視聴できますし、何回でも好きな時間に視聴可です。
- ・PCでもスマホ等のモバイルでも視聴可です。
- ・動画は視聴しやすいように、およそ30分単位ごとに編集してお届けします。

### ◇ 日本臨床心理士資格認定協会ポイントについて

本セミナーは、今年度も日本臨床心理士資格認定協会 定例型（継続型）研修会（4ポイント） に申請しております。

昨年度は、WEB配信によっても、研修ポイントが認められましたが、今年度は2月下旬の認定協会理事会によって決定される見込みです。その点を懸念される方は、3月上旬に名古屋心理療法オフィス <https://nagoya-psychotherapy.com/> の「お知らせ」欄に、結果を掲載しますのでご確認ください。

次ページに今期の内容のご案内を掲載しています。どうぞ皆様のお申し込みをお待ちしております。

令和3年1月11日  
日常臨床のための対象関係論WEBセミナー代表  
名古屋心理療法オフィス 祖父江典人



◇ 今期の講義スケジュール

セミナー 講義スケジュール 令和3年度(2021) 約2時間		
月日	テーマ	講師
2021/5/24(月)配信予定	日常臨床と精神分析:考え方の基本	祖父江典人
2021/6/28(月)配信予定	日常臨床と精神分析:臨床事例より	同
2021/7/26(月)配信予定	エディプスの申し子フロイト:「ヒステリー研究」	同
2021/8/30(月)配信予定	範型たらんとするフロイト:「精神分析入門」ほか	同
2021/9/27(月)配信予定	フロイトはなぜ失敗したのか:「ドラ」と「狼男」	同
2021/10/25(月)配信予定	フロイトはなぜ成功したのか:「ハンス」と「鼠男」	同
2021/11/29(月)配信予定	フロイトの技法の変遷:無意識の意識化から体験プロセスへ	同
2021/12/27(月)配信予定	恋愛性転移—快感原則の主演の登場	同
2022/2/28(月)配信予定	フロイト晩年の憂鬱—快感原則の裏役の登場	同
2022/3/28(月)配信予定	フロイト最後の境地—破壊に対峙する自我	同

◇ 質問コーナー

今年度も昨年度と同様に、各回のセミナー講義に関する質問を受け付けます。翌回のセミナー講義の中で、ご返答いたします。

講義内容自体でなくとも、そこから連想された質問でも構いません。

[セミナー事務局メールtaisho\\_kankeiron\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)宛にふるってご質問ください。

◇ ミニSVコーナー

今年度から新たに本コーナーを新設します。理由は、参加者の方々の関心が理論をどう臨床に結び付けるのか、ということにあることが多いからです。

ですので、臨床事例のミニSVを求められる方は、A4、1枚程度に臨床事例の要点をまとめ、検討事項をお示しください。

臨床事例は構造化された面接には限りません。福祉や教育やリエゾン系の援助事例でもかまいません。

まとめ方や検討事項の提示の仕方は、特に決まりはありませんのでお任せします。翌回のセミナーにて回答いたします。

なお、本セミナーは守秘義務のある会員のみ視聴できますが、念のため守秘性を担保するために、事例の一部改ざん等は、必要に応じてしてください。

質問コーナーと同じく、ミニSVのご要望は、[セミナー事務局メールtaisho\\_kankeiron\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)宛にお願いいたします。